

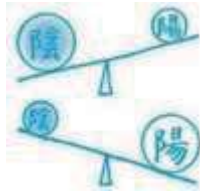
平成 28 年度 受託講座 開催案内

「未病」を治そう～漢方医学で体質改善～

「未病」とは病気の一步手前の状態で、病気という程ではないけれど少し調子が悪いと感じる状態で、この段階から身体のケアをすることが大切だと考えられています。

最近の漢方医学での治療は「未病」段階での漢方薬によるケアが注目されています。

さまざまな処方の中から、その人が困っている症状に最も合った処方を例にして体質改善について学びます。



第1回目

11月2日(水)午後7時30分～9時

「漢方医学の特質と基礎理論」

～今日見直される漢方医学の有効性と歴史～

第2回目

11月10日(木)午後7時30分～9時

「漢方医学の診断と治療法」

第3回目

11月17日(木)午後7時30分～9時

「漢方薬の有効な
適応症状に学ぶ」

第4回目

11月24日(木)午後7時30分～9時

「病気になる前に
未病を治す秘訣」



講師: **喜多 敏明 氏**

辻仲病院 柏の葉漢方未病

治療センター センター長

富山医科薬科大学和漢薬研究所

千葉大学 柏の葉診療所長

著書『好きになる漢方医学』

会場 ▼ 生涯学習センター 5階 研修室 4
対象 ▼ 16歳以上の方 定員 30名(先着)
受講料 ▼ 3,000円
申込 ▼ 生涯学習センターへTEL, 直接窓口

◆講座運営スタッフ募集◆

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ
電話・FAX 03-5813-3759(平日午後1時～5時)

E-Mail: shinohdy@s2.wh.git.ne.jp

講座運営スタッフへの参加をお待ちしま
(ボランティア活動推進部 篠原英也)

平成28年度 大学塾開催案内（第3ステージ）

源氏物語入門Ⅴ ～宇治十帖～

「源氏物語」に描かれた人間模様は、千年を超えて、今、なお、私たちに多くの問いかけをしています。

この物語に描かれた光源氏と女君たちの華麗な世界の先に紫式部が見つめた女性の生き方を「宇治十帖」の名場面から読み解きます。

講師：竹石 たか枝 氏 中世文学学会会員

日時：11月11日、18日、25日 毎回 土曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

講座テーマ：

第1回 源氏物語の華麗なる世界 ～光源氏と女君たちの物語～

第2回 宇治の物語「光源氏亡き後の世界」～薫・匂宮・大君・中の君～

第3回 浮舟の物語「源氏物語最終章」～流離の女君たちの行方～



素敵なワインライフの魅力を知り・楽しむ

家族で食卓を囲みながら味わう、
親しい仲間たちと語らいながら楽しむワイン。
質の良い美味しいワインの選び方と素敵なワインライフの
魅力をご紹介します。



講師：羽鳥 敏彦 氏 アサヒビール(株) 品質保証部お客様相談室 担当副部長

日時：11月15日、29日 毎回 火曜日 午後2時30分～4時30分

会場：足立区生涯学習センター 4階 講堂

講座テーマ：

第1回 ワインのある食生活・家族で楽しむワイン

第2回 ワインのあれこれを深く知ろう

講座運営スタッフへの参加をお待ちします。
電話・FAX 03-5813-3759（平日午後1時～5時）

E-Mail：shinohdy@s2.wh.qit.ne.jp

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ

（ボランティア活動推進部 篠原英也）

平成28年度 大学塾開催報告（第2ステージ）

中世古文書を読み解くⅢ 武将の書状編



7月3日・10日・8月7日（毎日曜日）午後2時～4時の3回、講師に高梨真行氏をお迎えして猛暑の最中でしたが受講者は延べ109名が参加した。

中世古文書のうち、日本史上で活躍した武将の手紙である「書状」と「文書」の比較から、その素顔と歴史の実像に迫る。

第1回目は、書状についてその種類、様式、消息との違い、書状の作法等の解説、足利尊氏の願文、自筆書状、執権北条貞時書下状の本文による解説。

第2回目は、戦国大名による領地支配の文書、関東各地大名の印判状、軍事関係の書状等の説明、武田晴信（信玄）の自筆書状、上杉謙信書状、北条氏康書状の本文による解説。

第3回目は、武将の書状、折紙、朱印状等の支配文書、天下人としての御内書、黒印状・朱印状等の解説、豊臣秀吉自筆書状、徳川家康自筆書状、等による本文による解説が行われた。いずれも解りやすい丁寧な解説をいただいた。

受講生からも「読み方を学ぶことが出来、良かった。」「徐々に古文が読めるようになりました。当時の武将たちの様子がうかがえました。」「接触不可能な武将の書状の解釈と内容に当時の戦国武将の思いと覚悟に少しでも触れることが出来、更なる興味と追及を感じることが出来ました。」などの好評を得ました。

（佐久間實）



<会員によるボランティア活動事例発表>

発表者：早坂 津夜子

テーマ：地域力で担う「開かれた学校づくり協議会」の事例より

35才からボランティア活動を始め、地域に係りながら子育てを行ってきた。親も含めた教育の必要性、学校と地域との係りが重要となっている。こうした環境の中でご自身が体験されてきたボランティア活動、「楽学の会」の活動の中で築いたネットワークを地域の子供達にも活かしたいという思いをお話しいただき、現在取り組んでいる足立区の教育改革のテーマである「開かれた学校づくり協議会」の事例より、地元の足立区立谷中中学校で実際に活動している内容についてご紹介をいただきました。



【足立区立谷中中学校「開かれた学校づくり協議会みつわ会」での活動事例】

- ☆ 挨拶運動・・・校門で協議会委員と先生方が一緒に、登校する生徒と挨拶を交わします。
- ☆ Y S S S活動 (Yanaka School Support Staff)・・・授業支援 (家庭科の調理実習や裁縫の授業)、放課後補充教室での指導、英検、数検、漢検試験監督、パティシエ教室など。
- ☆ 講演会・・・「女子高生サポートセンター」による「JKビジネス」に関する講演を全校生徒と保護者、地域の皆様の参加で開催しました。生徒が自ら考え判断する力を付けるために。
- ☆ 美化啓発ポスター制作 ☆ 料理教室 ☆ 書道教室 ☆ 卒業生を祝う餅つき大会 (第10回) 等々の精力的に活動している様子を伺うことができ、参加された会員一同感動しました。

発表者：金子 勝治

テーマ：荒川でちょっといいことしています。



足立区本木・水辺の会の事務局長として、「足立区本木ワンド」を拠点として、環境学習の場「水辺の楽校」を目指し、様々な活動の内容を紹介いただきました。荒川をより良い川としていくため、～荒川将来像計画 2010 地区別計画〔足立区編〕～その実現を見守っていくこと (維持管理が進捗しているかについて) と、またこれからの荒川の川づくりのあり方についても国や足立区の所管とも協議を図りながら荒川流域の各所で活動を行って居ます。

目的は自然環境との調和・共生を図った水辺空間の荒川の本木ワンドを、人々の憩いの水辺として、また環境学習の場として、ボランティアで環境整備をしています。

具体的には、清掃作業、草刈り作業、施設管理、環境学習、調査・研修、広報活動等々の活動を通じ環境が変化して行く四季折々の風景や活動状況を説明いただきました。

又、ワンドの中の「ひょうたん池」に常に水が満たされ、生物が生息できる環境を作りたいと様々な工夫をされている様子を伺うことができました。そうした活動の中で課題も多く、自然環境の変化、生物多様性危機、ゴミの不法投棄、漂着ゴミの堆積、など多くの問題を知らされ、豊かな荒川の自然を守るために真摯に取り組んでおられる活動の発表でした。

謙遜して「ちょっと」と言っていますが、「すごく」良いことに取り組んでおられ、敬意を表したいと思えます。

(ボランティア活動推進部)

みんなの広場

荒川・夏の風物詩

足立の花火と歴史

「約 100 年の歴史を持つ伝統の花火大会」

荒川の河川敷で開催される「足立の花火」の起源は明治時代。千住大橋の落成を祝い花火が打ち上げられたのが始まりといわれています。

大正 13 年、千住新橋の開通を記念して第 1 回「千住の花火大会」の名称で開催され、多くの庶民に親しまれるようになりましたがその後、第 2 次世界大戦の影響を受けて昭和 14 年を最後に姿を消しました。

荒川の花火は戦争で昭和 14 年を最後に中断していましたが、戦争が終わると早くも昭和 24 年には区民待望の「千住の花火大会」として復活し憩いの場として定着しましたが、その後の台風による河川改修等により昭和 34 年を最後に幕を下ろしました。

昭和 50 年頃になると、区民の間に足立の花火の復活を望む声が強くなり、狩野川台風や伊勢湾台風で荒れ果てた荒川堤防の護岸の改修、橋梁の嵩上げや高速足立線の工事も終わり、昭和 53 年の区民納涼大会のアトラクションとして 800 発の花火が打ち上がり大変好評を呼びました。翌、昭和 54 年には「足立の花火大会」として名称を変えて開催され 3,700 発が華々しく打ち上げられ復活を待ちわびた多くの観衆を酔わせました。前身の「千住の花火大会」から 20 年後のことである。

打ち上げの会場も千住新橋と常磐線鉄橋の間、旧日光街道が川に突き当たる正面（今の虹の広場）付近で行われていましたが、今度は千住新橋から西新井橋までを新たな会場として大規模に開催されることになりました。戦前から都内では両国の花火と共にその名をはせた「千住の花火」。

今では、足立区の花火大会は「足立の花火」と呼ばれて約 100 年の歴史を持つ伝統の花火大会として毎年 50 万人余の観衆を集める夏の風物詩として区民ほか多くの方々に親しまれています。

今年も第 38 回「足立の花火－夏の花火は足立から・・・。」をテーマに皆さんから寄せられた思い出の曲に乗せて 1 万 3,500 発が打ち上げられ、ひと夏の思い出と共に盛大に夜空を彩りました。

(金子勝治)



サービス会アーケード (昭和 29 年)
「写真で見る足立区 40 年のあゆみ」より



(西新井橋から千住新橋方面望む)

ご連絡：第 19 回 日本ボランティア学習学会 in TOKYO 参加案内 テーマ：ボランティアでつながる地域・家庭・学校

日本ボランティア学習協会より参加の案内が届いています。

日時：平成 28 年 11 月 19 日 (土) 13 時 30 分

11 月 20 日 (日) 9 時～

会場：亜細亜大学 5 号館 (武蔵野市境 5-24-10)

参加費：1,000 円 参加希望者は事務局 (江川) までご連絡ください。

・募集要項はホームページの顧問情報に掲載。

運営委員会だより

8月運営委員会（8月1日）

1. 代表挨拶：報告および提案

8月になりました。先週ようやく梅雨明け宣言され、暑い日が続いていますが皆様お元気でしょうか。

昨日は 東京都知事選挙が実施され小池百合子さんが当選されました。初の女性知事です。都民を向いた都政を期待したいと思います。

さてあだち区民大学塾は第2ステージに入り、7講座が終了、8月は7日の古文書講座の第3回講座のみです。9月からは毎月2講座の開催が続きますので準備の方よろしくお願いいたします。

また定員の受講者を集めるように広報、PRを多方面で進めていきたいと思っております。皆様のご協力をお願いします。

生涯学習センターよりの受託事業については、受託講座チームで精力的に検討頂いております。

「未病 漢方医療で治す」講座を7月にセンターへ提案し、承認頂きました。11月夜間開催の4回講座です。

8月の大学塾事務局は、8/11～21まで夏休みとします。これからも暑い日続きますので 熱中症には十分注意され、適度に冷房してこの夏を乗り切りましょう。

2. 議題

(1) 情報交換

- ・あだち区民大学塾事務局 8/11～8/21 夏休
- ・富嶽三十六景顕彰碑建立記念誌について
- ・「社会教育」70周年記念 読者実践研究交流会 7/2（土）開催について →参加者より報告
- ・他団体・NPO とのネットワークについて →資料に基づき説明、ボラ部・事務局でさらに調整、作成する

(2) 月例会開催について

- ・8月月例会 ナシ

(3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

- ・「論語」受講者 38(48)名 1日目 35名、2日目 34名、3日目 33名、終了 8/2 礼状送付
- ・「古文書」受講者 41(48)名 1日目 36名、2日目 37名、3日目 36名、8/7 最終回
- ・「徒然草」「中世京都」9月開講 8/2 依頼状送付予定

(4) 受託事業について

- ・「未病」を治そう～漢方医学で体質改善～
- ・新講座「これからの老後に生かす賢い備え」、第1回プレゼン7/21、第2回プレゼン8/9の予定

(5) 各部局からの報告・その他（省略）

9月運営委員会（9月2日）

1. 代表挨拶：報告および提案

8月は事務局は夏休みとしましたが、講座準備、ワークルールのロッカー整理に多数の会員がご参加頂き、有難うございました。

さてあだち区民大学塾はすでに8講座終了し9月からは毎月2講座の開催が続きますので、準備の方よろしくお願いいたします。そして29年度前期の大学塾講座の検討を今月の講座検討会議より開始いたします。区民のニーズに応える新規分野講座、新規講師の開拓を進めていきたく思いますので皆様よりの講座提案をお願いいたします。また、センターよりの受託事業については、受託事業プロジェクトチームで精力的に検討頂いております。「未病」を治そう～漢方医療で体質改善～講座を7月にセンターへ提案し、承認頂き、現在チラシを作成し今後、広報・PRを進めて行きます。11月夜間開催の4回講座です。もう1講座「老後の不安を安心に変える賢い備え」を8月9日にセンターにプレゼンテーションを行い、センターの承認頂きました。後見制度の紹介や高齢者福祉について足立区からも講演頂く企画です。現在講師と交渉中です。実施時期は29年2～3月の4回講座の予定です。大学塾講座含め 会員の皆様のご協力をお願いいたします。

2. 議題

(1) 情報交換

- ・「日本ボランティア学習学会」からの依頼について（興梠顧問） 11/19、20開催 分科会(11/20)での発表者 早坂津夜子、
- ・ワークルールのロッカー内整理について → 8/18 終了 10名参加
- ・セカンドハーベスト・ジャパンからのフードバンク食品について
- ・NPO フェスティバル 10/2 開催
- ・あだちサークルフェア 2016 10/8・9 開催

(2) 月例会開催について

- ・9月月例会 9/14、会員によるボランティア活動事例発表
- ・10月月例会 10/12、クラシック音楽の楽しみⅢ

(3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

- ・「古文書」受講者 41(48)名 ・「徒然草」受講者 31名
- ・「中世京都」受講者 57名
- ・「言葉のちから」「徳川将軍」10月開催、9/2 依頼状送付

(4) 受託事業について

- ・「未病」を治そう～漢方医学で体質改善～ →チラシ配布、実施要領等を説明
- ・新講座「これからの老後に生かす賢い備え」、プレゼン8/9実施、開催の前提で検討

(5) 各部局からの報告・その他（省略）

生涯学習センター 講座情報

◎ 講座名：ブラジルに生きる日系人 － 日本人移民の足跡 －

日 時：11月1日～11月15日 毎週火曜日
3日制 午前10時～正午
対 象：16歳以上の方
場 所：生涯学習センター 5階 研修室1
受講料：1,950円（一般）、1,365円（70歳以上の
方、障がい者手帳をお持ちの方）
定 員：40名（申し込み先着順）
講 師：丸山 浩明氏（立教大学教授、ラテン
アメリカ研究所所長）
内 容：リオ五輪で脚光を浴びるブラジルは日本と
深い繋がりがあります。かつてブラジルに移民した
日本人の子孫の方々が今でも多く暮らしています。
海を渡った日本人。初期の苦闘や、アマゾンに挑ん
だ日本人移民など、その姿や生き様について学びま
す。講師は現地での調査や体験、交流など経験と知
識があります。

◎ 講座名：松尾芭蕉と「奥の細道」の旅

日 時：11月5日～12月3日 毎週日曜日
5日制 午後2時～3時30分
対 象：16歳以上の方
場 所：生涯学習センター 5階 研修室3
受講料：5,000円（一般）、3,500円（70歳以上の
方、障がい者手帳をお持ちの方）
定 員：35名（申し込み先着順）
出 演：佐藤 勝明氏（和洋女子大学教授）
内 容：松尾芭蕉の俳諧紀行文「奥の細道」は、現
代人の我々が読んでも旅心をくすぐる傑作です。し
かし旅に同行した曾良日記などで、事実から離れた
記述があることも知られています。芭蕉が何に苦心
して推敲に推敲を重ねたのか、創作的
意図について原文を読みながら考えます。「細道」の
世界を旅してみませんか。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03-5813-3730）または直接窓口へ

11月「月例会」のご案内

日 時：平成28年11月16日（水）
午後3時30分～午後5時30分
場 所：生涯学習センター 5階 研修室3
《テーマ：28年度前期活動の振り返り》
・各部長の活動報告と質疑応答
代表理事、学習支援部、広報部、事務局
ボランティア活動推進部

会員の積極的な参加をお待ちしています。

楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
10月3日（月）午後3時～5時 研修室4
- ◎ 月例会
10月12日（水）午後3時半～5時半 研修室3
- ◎ 学習支援部
10月5日（水）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
10月6日（木）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報部
10月7日（金）午後2時～4時 メール会議
10月24日（月）午後2時～4時 ワークルーム
10月26日（水）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
10月4日（火）午後2時～4時 ニュース発送
10月11日（火）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 大学塾講座検討会議
10月12日（水）午後2時～3時半 研修室3
- ◎ 大学塾講座企画会議
10月3日（月）午後1時半～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
10月17日（月）

★お問い合わせ＆ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：a-kambe@jcom.zaq.ne.jp

編集後記

今月号は久しぶりに6ページの編集となりました。夏もそろそろ過ぎ去り、各種のイベントがこれから多くなります。会員皆さまの積極的な参加と様々な情報をお待ちします。（広報部）



『千住元宿神社例大祭』